

11期 外国文化を楽しむ科

～え！そんなん・ふしぎやね～..

日時： 5月31日（水） 10時～12時

場所： くらしかん

講師： オノダ グンデリナ マナロ先生 （大阪市国際交流協会講師）

テーマ： 「フィリピンの文化」

◆フィリピン⇄日本

日本から飛行機で約4時間

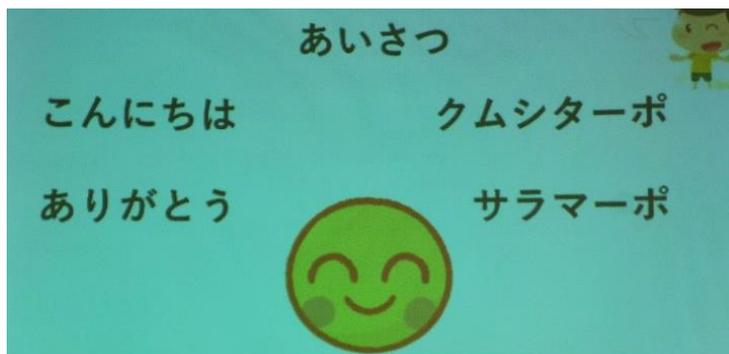
時差1時間

国の面積はほぼ同じ

◆言葉

主な言語は、英語とタガログ語。ほかに多くの言語がある。

「私の経験で、あいさつの言葉を覚えてたらどこでも生きていけますよ。それと笑顔が大事」



◆クリスマス

キリスト教徒が多いフィリピンではクリスマスが重要なイベント。「5か月も続きます」。クリスマスの準備が9月から始まるからだ。世界で一番長いクリスマスともいわれる。

「子どもたちはクリスマスキャロルを歌いながら家々をまわります」

◆スイーツ

ローカルスイーツとして知られているのがトゥロン（バナナの春巻き）。そしてモンキーバナナ（小ぶりバナナ）。ともに「おやつ」として重宝される。代表的なスイーツがハロハロ。かき氷にトロピカルフルーツなどをまぜてつくる。「日本のかき氷をみてつくったスイーツだね」

◆伝統舞踊

グラスに入ったキャンドルを両手に持ったり、頭に載せたりして踊る伝統舞踊をグンデリナさんと、その仲間3人が披露した。「頭にキャンドルを載せて踊ると姿勢がよくなります」。踊りに加わった受講生もいたが、頭からキャンドルが滑り落ちて大苦戦。ネット検索によるとミンドロ島が発祥といわれているという。



(午後) 1時～3時



大阪講談落語友の会 会員の《太閤堂 新玄さん》が「本能寺の変」の徳川家康側の動きを脚色した「角屋船の由来」を口演。新玄さんは定年退職後、上方講談道場に入門して講談師になったそうです。

グンデリナさんが英語と日本語（大阪弁）を交えて「日本に来てびっくり！」のお題を落語調で口演。
—キツネうどんと聞いてびっくり。狐の入ったヌードルなんて……。
「落語はイマジネーション。わからなくても笑ってください」



(広報担当：3班)